

野口健さんと トルコ支援へ

総社市・AMDA

総社市、アルピニストの野口健さんが代表を務めるNPO法人「ピーク・エイド」(山梨県富士河口湖町)、国際医療NGO「AMDA」(岡山市)は9日、共同記者会見を開き、大地震に見舞われたトルコを支援するため、極寒にも対応する寝袋を現地に送ると発表した。寝袋そのもののほか、購入費や配送費を募集している。

野口さんが総社市側に寝袋支援を持ちかけ、市が物資輸送のノウハウをもつAMDAに協力を呼びかけた。市は両団体と大規模災害時の支援協定を結んでいる。AMDAは11日に医師や看護師を派遣する予定。

野口さんは会見で「極限状態の中、夜に寒くて眠れないという状況では、精神



トルコへの支援に協力を
呼びかける野口健さん
(右)と総社市の片岡聡
一市長(同市中央1丁目

的に追い詰められる」と支援を呼びかけた。寝袋の送り先や募金の振込先は市やピーク・エイドのホームページで紹介している。

(原口晋也)